

(お知らせ)

平成28年12月16日
防衛省

MV-22オスプレイの「胴体着陸」と報じられている事案について

- 1 本件に関しては、これまで米側からは、
 - ・ 事案が発生したのは、13日23時45分頃であること
 - ・ 同機は、普天間基地に着陸時、着陸装置に故障を生じたものの、所定の手順に従い、通常の制御可能な状態で緩やかな着陸が行われたこと
 - ・ 当該機は着陸装置以外の全ての機能は正常であったこと
 - ・ 負傷者はなかったこと
 - ・ 同機は、当時通常訓練を行っており、不時着水したオスプレイからの救難連絡を受け、着水現場に向かい、空中監視を行っていたこと等の情報を得ている。

- 2 政府としては、引き続き、米側に対し、原因等も含めて更なる情報提供を求めているところ。